

# 風のてのひら

～南高だより No. 84～  
令和元年8月26日発行  
発行責任者：長崎県立五島南高等学校  
校長 大川 周一

「校長室の窓から」

## 「有言実行」

「平成から令和へ、記念すべき大きな節目の年に、何か一つ新しいことにチャレンジしてみよう！」4月の前期始業式の折に、校長訓話の中で生徒たちを前に語った言葉である。話を進めるうちに、生徒に求めるだけではダメだという思いが頭をよぎった瞬間、思わず「私は、七ツ岳のトレッキングにチャレンジします！」と声高らかに宣言してしまった。生徒の手前、一度口にしたことを引っ込めるわけにはいかない。それ以来、有言実行の4文字が頭から離れず、この夏の休暇を利用して、九州百名山の一つでもある七ツ岳（標高432m）のギザギザとした稜線を縦走するトレッキングを決行した。



トレッキングとは、“trek（移動）”を語源とした山歩きのことで、重装備で高い山の頂きを目指す登山とは異なり、比較的軽装で、山麓を移動するイーージーなものから、いくつもの山を尾根伝いに縦走するハードなものまでさまざまであるが、山の自然や地形を楽しみながら長時間の有酸素運動ができるのが魅力である。

今回のトレッキングは、草づみ地蔵堂の登山口から入山し、まずは七ツ岳山頂を目指す。七ツ岳山頂からは、北西に進路を取りながら残り六つの峰を縦走し、寺脇分岐を経由して七嶽神社の登山口へと下山するコースを選んだ。



地蔵堂の門をくぐって暫く進むと、いきなり急勾配の林道が延々と続いている。この日の気温は33度、直射日光こそ樹冠で遮られてはいるが、全身から汗が噴き出してくる。登山口で汲んだ冷たい湧水が乾いた喉を潤してくれる。七ツ岳一帯は、ホルンフェルス（マグマの熱で砂岩や泥岩が焼かれてできた接触変成岩）の岩峰で形成され、山頂に近づくとつれて、ごつごつとした大きな岩が行く手を阻むが、なぜか道が険しいほどファイトが湧いてくる。両手両足で最後の岩場を登り切り、汗だくになりながら60分ほどで七ツ岳山頂へ到達した。



東を眺めれば、岐宿の豊かな田畑が広がり、その奥に行者山を望むことができる。また、西を眺めれば、深い谷を駆け下りた先に紺碧の玉之浦湾が広がり、その奥には島山島を望むことができる。これら眼下に広がる絶景は、自分の足で山頂に立ってみなければ決して味わうことができない。水分補給とチョコをかじりながら、山頂での東の間の休息を楽しんだ。



いよいよ次は、ギザギザ峰のトレッキングである。北西に進路を取りながら、足元に自生するリュウビンタイ（亜熱帯系のシダ植物）やヤブツバキなどの低木林の枝葉をかき分けながら、尾根伝いに続く狭い道を進んでいく。途中、小道の片側が切れ落ちた断崖などもあってスリル感もあるが、慎重なトレッキングが要求される場所である。峰から峰までは直線距離にすると大した距離ではないが、高低差100m前後のアップダウンの連続は、さすがに54歳の骨身に応える。90分ほど歩いたろうか、七つ目の峰を通過し、ようやく寺脇分岐点（七ツ岳、父ヶ岳、七嶽神社への分かれ道）に到着した。



ちょうど手持ちの水も底を尽き、体力の消耗も感じられたため、五島列島最高峰の父ヶ岳（標高461m）への登頂は次回の楽しみに取っておくこととし、予定通り七嶽神社の登山口へ向けて下山することにした。

七嶽神社は、源平壇ノ浦の合戦で敗れた平家七人の落ち武者の御霊をこの土地の人々が祀ったことが始まりとされ、その建立は遙か昔に遡る。山の中腹を下っていくと、豊かな原生林に囲まれた神社奥殿がひっそりと佇んでいる。心が洗われると同時に、照葉樹の巨木が放つフィトンチッド（樹木が発する香気成分）とマイナスイオンが疲れた身体を癒してくれる。代々、地元の方々によって、神社とその周辺の自然が大切に守られてきたおかげである。奥殿の苔むした古い石段を下ると、やがて視界が明るく開け、神社の境内に出ることができた。今回のトレッキングを無事に終えたことに感謝し、神社本殿への参拝を済ませて家路についた。

**「緑映ゆ 眉あげ仰ぐ七ツ岳 若き瞳は高く澄み 学びの道を進むなり」**（本校校歌二番）  
改めて、自然の雄大さと校歌の趣深さを感じた爽快な一日であった。

## 『ホストファミリー』『ファミリーサポーター』募集中！！

昨年度から南高で新たに始まった離島留学制度。南高で学びたいという留学生が増えてきています。生活環境や学習環境を変え、「しま」で学びたいと考えている夢トライコース生の生活面をサポートして下さる方を募集しております。詳しく知りたい方は裏面に記載されております番号におかけください。

担当：井戸（事務長） 増田（教頭）

## ～第64回全国高等学校軟式野球選手権長崎大会～

7月20日(土)～21日(日)に予定されていた標記の大会ですが、台風接近に伴い順延となり、22日(月)～23日(火)に諫早市第一野球場で開催されました。離島からの参加ということで、諫早市では体を動かすこともままならず、バッティングセンターに行ったり試合に合わせて気持ちを作ったりなどしてコンディションを整えていました。結果は惜しくも準優勝でしたが、引退する3年生の気持ちを後輩が受け継ぎ、次の試合に向けて頑張っていってほしいと思います。



### 【準決勝】6回無死コールドゲーム

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
創成館	0	0	0	0	0	0	0
五島南	0	0	3	4	0	3×	10

### 【決勝】

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	計
北松農	0	1	0	0	2	4	3	0	0	10
五島南	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3

## ～第69回“社会を明るくする運動”中学・高校生長崎県弁論大会～

8月1日(木)、相浦地区公民館(佐世保市)にて、標記の大会が行われました。東那由多君(2年)が下五島地区代表として参加しました。

内容はユーモアを交えつつ自身の今までの経験や、五島の自然やそこに住む人への感謝や素晴らしさなどを踏まえた上で社会啓発について、熱弁をふるってくれました。最優秀賞をとることはできませんでしたが、大会後は多くの方に話しかけていただくなど、聴衆の心をつかんでいたように思います。今後も、五島の素晴らしさやそこにある人の思いを広げていってほしいと思います。



## ～令和元年度 オープンスクール～

8月2日(金)に本校のオープンスクールが開催されました。島内からたくさんの中学生在参加し、在校生による学校紹介や本校職員による体験授業が行われました。

参加者の皆さんと来年4月に本校で会えることを楽しみにしています。



## ～令和元年度 平和学習～

8月9日(金)、体育館にて史上最年少でノーベル平和賞を受賞し、国連平和大使とられたマララ・ユスフザイ氏の話をもとに、「生徒一人ひとりが平和大使」というコンセプトで、平和学習が行われました。今なお続く争いの悲惨さや平和の尊さ、ひいては、平和とはそもそもどのような状態を指すのか、平和を実現させるために今の自分ができることは何かをグループごとに考え、発表しました。

「選挙に行って自分の考えを表出する」  
 「自分と違う思想や考えを受容する」  
 「家の手伝いをしっかりとし家庭の平和を築く」  
 「課題を忘れないことで学校生活を平和にする」  
 「悪口を言わない」など様々な考えが生まれました。

自分自身・他人・未来の世代のことを大切に思い、世界中の人が、安心安全で笑顔あふれる日々を送ることができるよう、皆切に願っています。



### 9月行事予定

- 9月 1日(日) 体育祭
- 2日(月) 体育祭振休
- 3日(火) 体育祭予備日
- 17日(火) 第2回考査時間割発表
- 19日(木) 科目選択説明会(1・2年)
- 20日(金) 進路希望調査Ⅱ
- 23日(月) 全商情報処理検定
- 24日(火)～27日(金) 第2回考査



### 『漂着物調査(岐宿の海を知る・考える・未来に残す!)』ボランティア募集中!!

昨年度から本校では、夢トライコースにおいて「地域共生」という授業を実施しております。その一環で、浜田海岸(魚津ヶ崎)と中浜海岸(打折)において漂着物調査を行なっておりますが、生徒と一緒に活動していただける方を募集いたします。日程(予定)や準備物は下記の通りです。どうぞよろしくお願いいたします。なお、雨天時は実施しませんが、活動が無い場合はホームページに掲載いたしますので、ご確認よろしくお願いいたします。

【日程(予)】13:30～15:00

(打折海岸) 9月 6日、10月18日、12月 6日

(浜田海岸) 9月20日、11月 1日、12月13日

【準備物】長靴、軍手、ひばさみなど



担当: 森(2学年主任) 岩永(1学年主任)

ご相談やお気づきがありましたら  
 いつでもご連絡ください。  
 五島南高校 電話 0959-82-0132  
 FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご参加ください。以下のアドレスに空メールを送ってご登録ください。  
 gotominami-t@m-mate.com

